

会 議 録

| | |
|--------|---|
| 会議の名称 | 平成23年度第7回富士見市社会教育委員会議 |
| 開催日時 | 平成24年2月4日（土）午前9時30分～11時30分 |
| 開催場所 | 教育委員会 会議室 |
| 出席者 | 中澤佳珠代委員、前田憲之委員、羽石貴裕委員 西山ひろみ委員、武田秀規委員、児玉亮一委員 長ヶ原美博委員、田尻 円委員、佐藤晃子委員 事務局（佐藤生涯学習副課長、加治主任） |
| 欠席者 | 1人（高野昂子委員） |
| 公開・非公開 | 公開（傍聴人 0人） |
| 会議次第 | 1. 協議事項 （1）生涯学習フォーラムについて （2）協議テーマについて 2. 報告及び連絡事項 （1）平成23年度富士見市人権教育講演会 （2）入間地区社会教育協議会第5回社会教育委員部会 （3）その他 3. その他 （1）会議の開催について |
| 会議資料 | ①公民館だより1月号 ②入間地区生涯学習フォーラム開催要領 ③生涯学習関係5委員研修会資料 |
| 会議録確認 | 西山ひろみ委員 |

会 議 内 容 (要点記録)

○ 議長あいさつ

○ 報告及び協議事項

1. 協議事項

(1) 生涯学習フォーラムについて

- ・事務局から、生涯学習フォーラムについて、開催要領に基づき説明を行う。
- ・社会教育委員の参加確認を行う。

(2) 協議テーマについて

- ・事務局から、次のとおり説明を行う。

① 前回の会議録から、協議の主旨は「これまでの提言を検証し、優先度の高い課題の改善を提案する」として、テーマは今後協議するとなった。

進め方として、『後継者育成に関する研究』を団体・行政に意見を聞き、改善提案をまとめていくこととした。

② 本日の協議は、「進め方をどのようにするか」を検討していくこと。

(委員：議事進行) 前回、発言していただけていない委員から意見を願います。

(委員) 後継者育成では、講座などを受けた場合、学んだだけでなくその成果をどこかで活かせるような場がないとあとに繋げない。狭山市ではそのような講座を年間にわたってやっていると聞く。その中で、活かせる場所の紹介もしている。そこまでしていかないとだめなのではないか。後継者育成の課題については協議していきたい。

(委員) 先を見通した後継者育成を考えてしまう。子どもたちのなかには楽しい活動があれば僕もやってみたいという声があり、繋げていけると思う。しかし、中・高校生の部分は、部活動などで社会教育活動に参加できないことが多い。いま、現役の大学生が教育実習の前に学校現場に慣れるということできている。裾野を広げる意味で声をかけていくこともよいと思う。

(委員) 大学で、学生に自分の地域でどんな社会教育活動をやっているか調べる課題を出すことがある。すると、こんなにやっていたとは知らなかったという声が出る。しかし、関わっていたのは子ども会ぐらいまでということが多い。地元の地域では、自分で参加してみたいという思いはあるが、ハードルが高い現状がある。関心がある子は多いので、意見を聞きマッチングさせるといいのではないか。大学生は、その後住んでくれることも多いので、若い方の活動参加を見て行けるとよい。

活動の継続性については、グループを残すとか、活動を続けることが目的になってしまうことがあるが、どういう継続性が街にとって、その人たちにとってよいのか考えていくのもよいと思う。

(委員) 関心のあることには参加してくる子どもたちであるが、いい企画があっても中高生を取り込むことは難しい。そこをどう進めるかが課題と考えている。

(委員) 子どもたちに何かを伝えていくにはジュニアリーダーなどを見据えて行っていくことが大事。

講座を受けた人の成果を出していく場、受け皿については、誰が作ってい

くのかと考えると、それは自分たち、学習した側が作っていく必要があると思う。

(事務局) 前回の会議では、地域子ども教室などで数年活動してきたが、次につながる後継者が生まれてきていない。この具体的な話の解決方法について考えていこうということだったが、今回の意見では子どもたちからの育成など違った形の後継者育成について出されていると思う。今後は後継者育成についてのほかの例などを研究することや、身近な団体などの取り組み状況などを調査していくなど考えられる。

(委員) 後継者育成については、行っている活動に共感しながらいっしょに育ちあっていくことが必要に思う。その意味で、情報提供などいろんな活動を起こして、それに市民に参加してもらおう形で関心を持つ方を増やしていく手法で後継者育成に繋げるということもいいのではないか。

(委員) 後継者育成作りがうまくいっている団体はあるのでしょうか。

(委員) 南畑地区ではイベントが多くある。関わっている人はいつもいっしょであることが多い。直接関わっていない人でも、行けば知っている人がいるから安心感があるという方が多い。地域の特殊性もあるが、直接的ではなくてもゆるやかなつながりから、取り組みの手伝いなどを頼んだりもできている。子ども会育成会では、役員をしょうがなくやりはじめたという方もいるが、それがきっかけでほかの役員に関わったりしてきている例もある。

小学生は祭りなどに来てかかわりを持っていたが、中学生は難しい状況があった。ちょうど今の南畑小学校の校長先生が以前に同じ地域の中学校にいたことから、イベントの手伝いを呼びかけることで手伝ってもらってきた例もあるし、高校も近くにあるのでボランティアも募集したりしているということもある。このことを考えると、小学生から大人まで縦一本でつながり・後継者育成を考えることが必要に思う。

(委員) 川越でも、地域によっては例えばPTA会長が何代か先まで決まっているというようなこともある。活動なども地域に根ざして確実にやっていく状況にある。後継者育成には、団体をリードしていく部分の育成と子どもたちを育成していくものがあると思う。小学生にはジュニアリーダー養成なども行っているが、中学生になると途端に参加が少なくなる。しかし、少ないながらも続けてきている子どもたちもいるので、かれらをどう繋げていくかが課題となってきている。団体に所属する楽しみがあって、その学んだことをどう活用するかをみつけないと続かないと思う。

(委員) 中学生にはしかけを考えていくことも必要に思う。たとえば、防災活動でも、大人が段取りしても、中学生に活躍してもらおうようにすると、地域で認められ、地域を愛したり、誇りに思ったりしていくことにつながると思う。学校を巻き込んで行うことでは、土曜参観には地域に子どもを返して、教員を地域に派遣し、子どもたちには高齢者訪問などさせていくなどしていき、消えそうになる中学生を地域につなげる取り組みをしていくこともよいのではないかと思う。東日本大震災では、中学生が高齢者の手を引いて避難するということが根付いていて被害がなかったということも聞いている。

- (委員) これまでの話を聞いて、活動の継続には二つのことがあると思う。ひとつは、強力なリーダーがいること。二つ目には参加している方にやりがいを感じさせることができていること。この二つの成功事例を調査し、PRしていくことが大事なことだと思う。まずは、外に出て、事例を見て聞いて歩き、それを持ち寄り、提言としてまとめ上げていくことが役割であると思う。
- (委員) 中学生では社会体験ということを行っているが、3日間ぐらいで、もう少しそういう機会があってもいいのかなと思う。親としては、世間を知らずに子どもを社会に出すのが怖い。このように親が思っていることと教育委員会の考えにはギャップがあるように思うので、話し合いの場があるといいと思う。
- (委員) 兵庫県のようにトライアルウィークといって、1週間実施しているところもある。会社側との話も必要に思う。
- (委員) 企業でなくても、公民館などで活動してもらうこともいいのではないかな。子育てなどの大変さを知ってもらうこともよい。また、部活動でも社会性を学ぶ機会があるのでそのような場も大事に思う。
- (委員) 未来を担う子どもたちの育成について、市長へ提言したことがある。内容は、全員に同じ教育をするのはどうか。興味を持って学ぶ子どもに育てることが大事で、先生には団塊の世代の社会経験豊富な方を活用し、学んでもらうこと。関心のある子どもにのみ教育をしていくということを提言した。
- (委員) 中学校で将来を決めるにはいろんな話を聞いてもらうことが必要ではないかということから、地域のいろんな職種の方に来てもらい話をしてもらったことがあった。興味のある職種の話をしている子どもたちは真剣に聞いていた。大事な取り組みと思う。
- (委員) 佐藤委員に、まとめていくすすめ方を整理していただきたい。そして、正副議長と調整をしていくことにしてほしい。また、事前にそのたたき台資料を委員に配布していただきたい。
- (委員：議事進行) それでは次回までに正副議長と佐藤委員と調整し、資料を委員のみなさんに事前配布するというので、了承することとする。

2. 報告及び連絡事項

(1) 平成23年度人権教育講演会

(12月17日(土) 午後2時～午後4時 鶴瀬コミュニティセンター)

- ・事務局から「地域で支えあう多文化社会」ということで講演会が行われたことを報告。

(2) 平成23年度生涯学習関係5委員研修会

(1月28日(土) 午前11時～12時 鶴瀬西交流センター)

- ・今回、初めて代表者の各委員会の報告を行った。ほかの委員へのPRも含めてもっと以前からすべきであったと思った。講師を呼んで話を聞くよりよかったと思う。情報交換も大事である。

(3) その他

- ・次回の日程は、3月12日月曜日、午後7時からとする。改めて、通知する。

(閉会)